
コロンブスの卵

Toporo

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コロンプスの卵

【Nコード】

N6642K

【作者名】

Toporo

【あらすじ】

コロンプスの卵についてわからない人はグーグルで調べよう！

西に向かい新大陸を見つけたコロンプスはある日

「一方に進んだら大陸に着くのはあたりまえじゃね？むしろ最短ルートを発見する方が偉くね？頭悪くね？」

といわれました。

それに対しコロンプスは「じゃあこの卵を机に立ててみてくださいはい！」

といいました。

みんな躍起になってたまごを立てようと思いました。卵は根性なしだったのでまるで立ちませんでした。

ハンプティダンプティのようにコロンプスに投げつけようかとみんなが思い始めてきたその時

コロンプスが「みんな立てられないとかだらしないんですけど・・・見ててくだちゃい」

といって卵の先を軽く割って机に立てました。

全体的にべちよべちよになりました

ほら？立ったでしょ？と得意げなコロンプス。

しかしすぐに横槍が入ります。

「コロンプスは今そうやって立てたけど卵のとがってるほうが上だなんて誰が決めたんだ」

「ひよつとしたら横の広い方が縦かもしれない、そうするならコロンプスは立てたのではなく寝かせたということになる」

といわれあんまり頭の良くなかったコロンプスはなるほどと思っしまいました。

そうするとみんなの好奇心は悪戯に刺激され、卵の上がどちらなのか確かめるために鶏小屋に駆け込み卵が生まれる瞬間を見ました。

大きな卵が小さな鶏の排出肛から出るさまは、あんまり頭の良くないみんなにはどうにもいかがわしいものを想像させてしまい

最終的に立ったのはみんなのチンコでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6642k/>

コロンスの卵

2010年12月30日23時45分発行